

新刊書案内



www.nankodo.co.jp

志水先生が「NEJM Clinical Problem Solving」を読解



NEJM Clinical Problem-Solving: Taroの“別解”

著 志水太郎

A5判・148頁 2024.4.
ISBN978-4-524-22727-3
定価 **4,070** 円 (本体 3,700 円 + 税 10%)

精選された 12 ケースを取り上げ、診断の進め方、着眼点を明快に解説。随所に本家のディスカッサントとは異なる“別解”を示し、確定診断に導いていく。
【掲載内容に関するご注意】本書には「NEJM」の論文自体は掲載されておりません。実際のケースをお読みいただくには、別途「NEJM」誌をお求めください。(紙面に該当論文の QR コードを掲載)

リウマチ・膠原病への理解が深まる一冊



リウマチ・膠原病 治療薬処方ガイド 薬剤の基本からよくある疑問をこの 1 冊で!

編 堀内孝彦/有信洋二郎/木本泰孝

A5判・264頁 2024.4.
ISBN978-4-524-20339-0
定価 **5,280** 円 (本体 4,800 円 + 税 10%)

ステロイドやメトトレキサートなどの以前より使用されてきた薬剤から、生物学的製剤、JAK 阻害薬、そして今後登場するであろう新規薬剤に至るリウマチ・膠原病の治療薬について、代表的な臨床試験の結果、作用機序、副作用などの基本情報、使用上のコツをまとめ、ベッドサイドで役立つ実践的な内容とした。薬剤選択に迷った症例や初学者から多く寄せられる質問も盛り込んだ。

本邦初のエビデンスに基づくガイドライン



結核診療ガイドライン 2024

編 日本結核・非結核性抗酸菌症学会

A4変型判・140頁 2024.4.
ISBN978-4-524-21043-5
定価 **3,960** 円 (本体 3,600 円 + 税 10%)

総論では結核の診断・結核菌検査・結核患者の管理・治療・潜在的結核感染症について基礎から実践までまとめた。また臨床問題となる「IGRA 検査の解釈」、「薬剤耐性遺伝子検査の適応」、「高齢者結核の治療」、「免疫抑制宿主に対する治療」といった 12 の CQ に推奨を明記し、対応の指針を示している。呼吸器科医、感染症医はもちろん、結核診療に関わる全医療スタッフ、行政担当者必携の一冊。

外来インスリン導入のコツから一歩進んだ知識まで



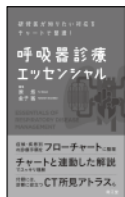
もう迷わない! 外来インスリン療法 マスターブック 改訂第 2 版 GLP-1 受容体作動薬、配合剤も含めたマネージメント

著 弘世貴久

A5判・144頁 2024.4.
ISBN978-4-524-23212-3
定価 **2,750** 円 (本体 2,500 円 + 税 10%)

今改訂では、インスリン導入に関する内容のほか、現在では広く使われるようになった GLP-1 受容体作動薬、インスリンと GLP-1 受容体作動薬の配合剤の使い方も盛り込み、臨床現場で糖尿病注射療法を行うのに役立つ内容へとアップデート。インスリン導入を始めたい方はもちろん、導入で困っている方、一歩進んだインスリン療法を目指したい方にもおすすめ。

呼吸器疾患についての病態理解が深まる



研修医が知りたい対応をチャートで整理! 呼吸器診療エッセンシャル

編 原 悠/金子 猛

新書判・278頁 2024.4.
ISBN978-4-524-20494-6
定価 **3,850** 円 (本体 3,500 円 + 税 10%)

好評書『循環器診療エッセンシャル』の呼吸器診療版が登場! 症候・疾患別に「確認すべきポイント」、「必要な初期対応・検査」、「診療の手順」をフローチャートで図解し、チャートとリンクした解説文で理論と実践をスッキリ理解できる、実臨床で「使い倒せる一冊」。「押さえておきたい手技・対応・治療薬」のマニュアル、「診断に重要な CT 所見」のアトラスも収載。「手際よく情報を得たい」、「診療の流れを知りたい」という研修医・若手医師にオススメ!

聴診の歴史と科学の面白さを学べる



肺の音の不思議 歴史と科学から紐解く肺聴診

著 工藤翔二

新書判・160頁 2024.4.
ISBN978-4-524-21042-8
定価 **2,530** 円 (本体 2,300 円 + 税 10%)

なぜ、「聴診器」は 200 年の時を超えて使われ続けているのか——。呼吸器内科学と肺音聴診の大家である著者により、肺聴診について歴史と科学の両面から紐解いた一冊。聴診器の発見と聴診学の発展から、呼吸音・肺音の成り立ち、副雑音発生のメカニズム、聴診のポイントまでをわかりやすく「読み物」としてまとめた。医療者はもちろん、音響工学等に関連する非医療者の方々にも、肺聴診の面白さと奥深さを楽しんでいただけたら。